

入 札 公 告

国立大学法人筑波大学において、下記のとおり一般競争入札に付します。

記

1 競争入札に付する事項

- (1) 調 達 件 名 筑波大学スポーツヴィレッジ音響設備 一式 (リバースオークション対象案件)
- (2) 規格及び数量 詳細は仕様書のとおり
- (3) 納 入 期 限 令和9年3月12日
- (4) 納 入 場 所 国立大学法人筑波大学
筑波大学スポーツヴィレッジ アリーナ 外

2 仕様書、契約条項並びに入札の説明等をする日時及び場所等

- (1) 日 時 令和8年10月21日 13時30分～
- (2) 場 所 〒305-8577 茨城県つくば市天王台一丁目1番1
国立大学法人筑波大学
筑波大学スポーツヴィレッジ アリーナ

※参加希望者はメールにて令和8年10月19日 17時00分までに申し込むこと。
連絡先：hanyu.shuya.ep@un.tsukuba.ac.jp (筑波大学体育スポーツ局 羽生)

(3) 仕様書等関係書類交付方法

仕様書等関係書類は、リバースオークションシステム(見積@Deeを指し、以下「システム」という。)上にて配布するので、本件の入札に参加を希望する場合は、以下のシステムにログインし、当該案件(上記1(1)の調達件名)を検索の上、当該案件情報からダウンロードすること。なお、この競争に参加できる者は、以下に示す競争参加に必要な資格を有する者で、かつ、システムの登録手続きを事前に済ませた者に限られるので、以下のホームページを確認の上、登録手続きを行うこと。

仕様書等関係書類交付場所

システム：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/>

新規会員登録：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/index.php?mode=SENDMAIL>

本件本学担当：国立大学法人筑波大学財務部契約課契約第二担当
(電話番号 029-853-2171)

3 競争参加資格の確認のための書類等の提出期限等

- (1) 提出方法 システム(<https://dem3.deecorp.jp/supplier/>)上にて提出
- (2) 提出期限 令和8年10月28日 17時00分

4 同等品以上のもので参加する場合の取扱い

同等品以上のもので参加を希望する場合は、仕様書に従い同等品以上であることを証明できる書類等を「リバースオークション入札の注意事項」により提出する必要がある。本学が同等品以上と認めた場合のみ参加することができる。

5 入札の日時及び方法等

本件の入札はリバースオークション方式(インターネット上で安値で競り合う競り下げ方式)で行う。

詳細は「リバースオークション入札の注意事項」を参照のこと。

システム：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/>

6 入札方法

落札決定に当たっては、入札した金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札すること。

7 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第46条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第47条の規定に該当しない者であること。
- (3) 国の競争参加資格（全省庁統一資格）又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格のいずれかにおいて令和8年度に関東・甲信越地域の「物品の販売」の「A」、「B」、「C」又は「D」等級に格付けされている者であること。
- (4) 契約担当役から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

8 入札保証金及び契約保証金
免除する。

9 契約書の作成

契約締結に当たっては、契約書を作成するものとする。

10 落札者の決定方法

国立大学法人筑波大学財務規則施行規程第53条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を交渉権者とする。

以上公告する。

令和8年10月15日

国立大学法人筑波大学
契約担当役
財務担当副学長 古田 和之

リバースオークション入札の注意事項

1. リバースオークション入札の手順

競争は、リバースオークションシステムを利用した、電子入札方式で実施する。参加に当たっては、システムの登録手続きが必要なため、以下のホームページを確認の上、登録手続きを行いシステム上にて入札すること。

1.1 利用システム

P&D プロキュアメントサービス株式会社：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/>

新規会員登録：<https://dem3.deecorp.jp/supplier/index.php?mode=SENDMAIL>

※システムの登録手続きは、必要な書類を P&D プロキュアメントサービス株式会社で受理後、数日を要するため注意すること。登録料は無料。

1.2 リバースオークション参加資格

入札公告に示す競争参加に必要な資格を有する者で、かつ、上記利用システムの ID 等の登録を事前に済ませた者に限られる。さらに、システム上において案件毎に競争参加の意思表示をする必要がある。

1.3 リバースオークション参加手順

本競争に参加を希望する者は、システム上において 2 回入力する（1 回目は、「競争参加の意思表示及び必要書類を提出」し、2 回目は、「入札金額の入力」）必要がある。手順は、以下のとおりとなるので、熟読の上、競争に参加すること。

1.3.1 【1回目】

1 回目は、競争参加を希望する者が参加意思を表明するために行う。本競争に参加を希望する者は、後記「7.」に示す、

① 競争参加資格の確認のための書類

② 納入できることを証明する書類

（①と②を併せて以下「競争参加者の確認書類」という。）を、後記「7.」に記載の期日までにシステム上において提出することで、競争参加の意思を示さなければならない。ただし、例示品と同等品又はそれ以上のもので参加を希望する場合には、

③ 競争参加資格の確認のための書類

をシステム上で提出することに加えて、

④ 納入できることを証明する書類

⑤ 提案物品が例示品と同等品又はそれ以上であることを証明する書類

を、後記 7. に記載の期日までに必要部数を紙媒体にて提出すること。

本学が参加を認めた場合、競争に参加することができる。その際は、システム上にて「参加確定」を通知するので、競争参加を希望する者は、「参加確定」通知を受理した場合のみ、2 回目の「入札金額の入力」を行うことができる。

※注意事項

・システム上で、上記の書類を提出するためには、「参加申込」をチェックし、ファイルを添付の上、「申請」ボタンを押下して提出しなければならない。

・「参加確定」の通知は、本学での審査が完了してから行う。なお、審査には数日から 1 週間程度（技術審査を行う場合は、2 週間程度）要する場合がある。

1.3.2 【2回目】

「入札金額の入力」は、1.3.1 の書類提出後、合格（「参加確定」通知を受理した者）した者のみを対象に、システム上にて金額を入力することで入札を行うものとする。

※注意事項

- ・「入札金額の入力」は、「入札提出画面」の「入札総額」欄に金額を入力し、「入札内容確認」ボタンを押下し、「入札内容確認画面」で内容を確認した上で「OK」ボタンを押下し、入札金額を確定すること。システム上にて入力確定された金額を入札価格とするので、システム上での見積書の提出は、不要とする。
- ・「入札提出画面」の「入札総額」欄には、既に入札がある場合は「入札第1位」の金額が表示され、自社が第1位の入札者の場合は王冠が表示される。「入札第1位」の欄に、王冠が表示されていない場合は、自社が1位ではないので注意すること。

2. 入札開始日時：本学が入札への参加を認めた競争加入者のみに通知

3. 入札締切日時：令和8年12月14日 14時00分（自動延長なし）

4. 落札決定に当たっては、入札した金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札すること。

なお、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって入札をした者を、契約の交渉権者とする。

5. いったんシステム上で確定された入札金額は、取消しをすることができないが、入札締切日時前であれば何度でも安価な金額に更新することができる。

6. 落札決定の日から7日以内（契約の相手が遠隔地にある等特別の事情があるときは、指定する期日）に契約書の取り交わしをするものとする。

7. 競争加入者等に要求される事項

この一般競争に参加を希望する者は、競争参加者の確認書類を下記の期日までに提出すること。例示品以外の物品で入札に参加を希望する者は、提案物品が例示品と同等品又はそれ以上であることを証明する書類を競争参加者の負担において作成し、競争参加者の確認書類と併せて提出すること。なお、本学職員から当該書類その他入札公告において求められた条件に関し、説明を求められた場合には、競争加入者又は代理人の負担において完全な説明をしなければならない。

①競争参加資格の確認のための書類…システム上にて提出

- ・令和8年度の資格審査結果通知書
（全省庁統一資格又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格）の写し

②納入できることを証明する書類…システム上にて提出（例示品以外の物品で入札に参加を希望する場合は紙媒体で提出すること。）

- ・代理店証明書（販売代理店が参加する場合）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ・定価（価格）証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ・納入実績表・・1部
- ・参考見積書（別紙留意事項を確認の上作成）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ・アフターサービス・メンテナンスの体制表・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ・外国製品による場合は次の書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部

(1)インボイス等仕入原価及び諸掛を明らかにした書類（写）

(2)上記(1)の書類を提出できない場合は、輸入元（販売総代理店を含み、国内販売価格を設定している企業）からの、「インボイス等輸入関係書類の不提出理由書」

③例示品と同等品又はそれ以上であることを証明する書類 …紙媒体にて提出

- ・技術審査申請書（様式1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ・仕様書に示す技術的要件の項目に応じて入札機器の性能等を数値又は、
具体的な表現で記載した技術仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3部
- ・提案物品全てのカタログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3部

※注意事項

上記提出書類のほか、補足資料の提出を求める場合がある。

■提出期限

令和8年10月28日(水) 17時00分

■提出場所

〒305-8577 茨城県つくば市天王台一丁目1番1
国立大学法人筑波大学財務部契約課契約第二担当
電話番号：029-853-2171

8. その他

この契約に必要な細目は、以下によるものとする。

- ・国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則
<https://www.tsukuba.ac.jp/about/disclosure-ho-kisoku/s-03/>
- ・物品供給契約基準
<https://www.tsukuba.ac.jp/about/bid-contract/#kijun>

様式1（例示品以外の物品で入札に参加を希望する場合）

技 術 審 査 申 請 書

令和 年 月 日

国立大学法人筑波大学 御中

（申請者）
住 所
会 社 名
代表者名

㊞

下記の入札に関し、関係書類を提出しますので技術審査願います。

記

1 入札の件名

筑波大学スポーツヴィレッジ音響設備 一式

2 添付書類

- ・仕様書に示す技術的要件の項目に応じて入札機器の性能等を数値又は具体的な表現で記載した技術仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3部
- ・提案物品全てのカタログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3部
- ・代理店証明書（販売代理店が参加する場合）・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・定価（価格）証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・納入実績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・参考見積書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・アフターサービス・メンテナンスの体制表・・・・・・・・・・・・・・ 1部
- ・外国製品による場合は次の書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部

- (1)インボイス等仕入原価及び諸掛を明らかにした書類（写）
- (2)上記(1)の書類を提出できない場合は、輸入元（販売総代理店を含み、国内販売価格を設定している企業）からの、「インボイス等輸入関係書類の不提出理由書」

以上

【提出資料に対する照会先】

会社名・所属：
担 当 者 名：
連 絡 先：

【参考見積書の提出に係る留意事項】

ご提出いただく見積書は、本学の契約事務の一環として市場調査するための書類です。

したがって、見積書に記載する価格は、契約が困難となるような価格を避けるため、仕様書の内容を十分に精査し、見積書と応札価格に極端な乖離が生じないようにした上で、ご提出くださるようお願いいたします。

また、応札価格は、提出された見積書の価格と同価又はそれ以下となるよう応札願います。（※注）万が一、応札価格が見積書の価格を上回る事態が生じた場合には、本学の適正な契約手続を妨害する不誠実な行為として、取引停止措置を講じる場合があります。

本学で取引停止措置を講じた場合には、他の国立大学法人や国の関係機関（以下「国立大学法人等」という。）にその情報が通知され、これを受けた国立大学法人等においても取引停止措置を講じる場合があることを認識願います。

なお、見積書等必要書類を提出後、合格となった応札希望者は、必ず入札に参加していただくようお願いいたします。（※注）合格となった応札希望者が入札に参加しない場合、適正な入札執行ができない事態が生じる場合があることから、不誠実な行為とみなし、同様に取引停止措置を講じることがあります。

※注 貴社が入札する時点ですでに他社が入札しており、その価格が貴社の提出された見積書の価格より安値であり、当該価格未満での応札が困難な場合を除く。

物品供給契約書（案）

供給すべき物品の表示 筑波大学スポーツヴィレッジ音響設備 一式（詳細は別紙のとおり）

代 金 額 金 円也

うち取引に係る消費税額及び地方消費税額金 円也（消費税法第28条第1項及び第29条並びに地方税法第72条の82及び第72条の83の規定により算出したもので、代金額に110分の10を乗じて得た額である。）

発注者 国立大学法人筑波大学契約担当役財務担当副学長 古田 和之（以下「甲」という。）
と 供給者 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（以下「乙」という。）との間において上記物品（以下「物品」という。）について、上記の代金額で、次の条項により供給契約を結ぶものとする。

第1条 乙は、甲に対し物品の供給をするものとする。

第2条 物品は、国立大学法人筑波大学筑波大学スポーツヴィレッジ アリーナ 外に納入するものとする。

第3条 物品の納入期限は、令和9年3月12日とする。

第4条 納品書（給付完了の通知）は、国立大学法人筑波大学財務部契約課に送付するものとする。

第5条 代金は1回に支払うものとし、検査終了後、適法な請求書を受理した日から起算して40日以内に支払うものとする。

第6条 代金の請求書は、国立大学法人筑波大学財務部契約課に送付するものとする。

第7条 甲は、引き渡された物品が種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないもの（以下「契約不適合」という。）であるときは、乙に対し、その物品の修補、代替物の引渡し又は不足分の引渡しによる履行の追完を請求することができるものとする。

2 前項の契約不適合の場合において、甲がその不適合を知った日から1年以内にその旨を乙に通知しないときは、甲は、その不適合を理由として、履行の追完の請求、代金の減額の請求、損害賠償の請求及び契約の解除をすることができないものとする。

第8条 契約保証金は、免除する。ただし、乙の故意又は重大な過失により物品の供給が著しく遅延するおそれがあるときは、甲は、契約を解除することができるものとする。この場合において、乙は契約額の10分の1に相当する違約金を甲に支払うものとする。

第9条 この契約に定めるもののほか、必要な細目は、国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び物品供給契約基準によるものとする。

第10条 この契約について検査の円滑な実施を図るため、乙は甲の行う検査に協力するものとする。

第11条 この契約について、甲乙間に紛争を生じたときは、両者協議により、これを解決するものとする。

第12条 この契約に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、甲乙間において協議して定めるものとする。

上記契約の成立を証するため、甲乙は次に記名し印を押すものとする。
この契約書は2通作成し、双方で各1通を所持するものとする。

令和 年 月 日

甲 茨城県つくば市天王台一丁目1番1
 国立大学法人筑波大学
 契約担当役
 財務担当副学長 古田 和之

乙 【住所】
 【法人等名】
 【代表者等氏名】

【内訳】

品名	規格	製造会社	数量	単価(円)	金額(円)	備考
小計						
消費税額及び地方消費税額						
合計						

仕 様 書

1. 購入物品名 筑波大学スポーツヴィレッジ音響設備 一式
2. 規格及び数量 詳細は別紙のとおり
3. 納入期限 令和9年3月12日
4. 納入場所 国立大学法人筑波大学 筑波大学スポーツヴィレッジ アリーナ 外
5. 支払 検査終了後、適法な請求書を受理した日から起算して40日以内に支払うものとする。
6. その他
 - (1) 搬入、設置、調整等本調達に係るものを全て含むものとする。
 - (2) 本調達物品は、未使用の新品であることを要件とし、中古品、再生品、展示品等は認めない。
 - (3) この契約に必要な細目は、国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び物品供給契約基準によるものとする。
 - (4) その他詳細については、本件担当職員の指示によるものとする。

1. 調達物品の規格及び数量等

オーディオミキサー

ティアック株式会社製 (MODEL24) 外 (詳細は別紙内訳のとおり)

上記例示品又は同等品若しくはそれ以上のもの

2. 同等品又はそれ以上のもので参加する場合

同等品又はそれ以上のもので参加を希望する者は、あらかじめそれを証する書類を令和8年10月28日(水)17時00分までに提出し、本学が認めた場合のみ参加することができる。

3. 導入目的

本件は、アリーナ新設に伴い、新たに当該設備の調達を行うものである。

本調達では、音響設備の物品調達及び設置、設定作業を行うものとする。

4. 性能及び機能に関する要件

同等品又はそれ以上のもので参加する場合は、次の仕様を満たすこと。

(1) アリーナ音響設備機器関連

(1-1) オーディオミキサー

- (1) 入力マイク 16/ライン 20 系統以上、ステレオ 1 系統以上の端子を有すること。
- (2) XLR 2 出力、6.3mm TRS 標準ジャック 5 出力以上の端子を有すること。
- (3) 7 バンド以上のグラフィック EQ 機能を搭載していること。
- (4) SD, SDHC, SDXC 対応 SD カードが使用できること。
- (5) 入出力音量の設定はフロントパネルから行うことが可能であること。
- (6) 消費電力は、55W 以下であること。
- (7) 重量は、12kg 以下であること。
- (8) 外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行) は、600 mm x 130 mm x 550 mm 以下 (突起部を含む) であること。

(1-2) サンプラー

- (1) 最大同時発音数は 32 音以上であること。
- (2) 内蔵ストレージ 16GB 以上であること。
- (3) ディスプレイは有機 EL ディスプレイとする。
- (4) パッドは 16 以上であること。
- (5) 使用電源は、付属 AC アダプター又は単 3 型電池対応可能であること。
- (6) 重量は、1.5kg 以下であること (AC アダプター含まず)。
- (7) 外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行) は、200 mm x 80 mm x 300 mm 以下であること。

(1-3) ディストリビューションアンプ

- (1) ステレオバランス入力 1 系統以上、ステレオバランス出力 6 系統以上の端子を有すること。
- (2) 入力端子は XLR バランス端子とする。
- (3) 入力 L/R 個別にレベル調整が可能であること。
- (4) 入力 6 ドット以上の LED レベルメーターを搭載していること。
- (5) 各出力系統ステレオ/モノラル切替スイッチを搭載していること。
- (6) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。
- (7) 消費電力は、20W 以下であること。
- (8) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、500 mm x 50 mm x 250 mm 以下であること。

(1-4) ラインレベルコンバーター

- (1) アンバランス入力からバランス出力に変換 4 系統以上有すること。
- (2) バランス入力からアンバランス出力に変換 4 系統以上有すること。
- (3) アンバランス RCA 端子、バランス XLR 端子装備すること。
- (4) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。
- (5) 消費電力は、10W 以下であること。
- (6) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、500 mm x 50 mm x 320 mm 以下であること。

(1-5) 2CH ワイヤレス受信機

- (1) 受信周波数 B 帯(806.125～809.750MHz)に対応すること。
- (2) 受信チャンネル数 B 帯(806～810MHz)30 チャンネルのうち任意の 2 チャンネル選択可能なこと。
- (3) ゲインの調整範囲は-18dB～+42dB 調整可能とする。
- (4) アンテナ入力 BNC(50Ω)端子 2 端子以上装備すること。
- (5) 音声 XLR バランス出力端子各 1 端子以上装備すること。
- (6) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、230 mm x 50 mm x 180 mm 以下(突起部除く)であること。

(1-6) ワイヤレスハンドヘルド送信機

- (1) 送信周波数 B 帯(806.125～809.750MHz)に対応すること。
- (2) 送信チャンネル数 B 帯(806～810MHz)30 チャンネルのうち任意の 1 チャンネル選択可能なこと。
- (3) 送信出力 1mW、10mW 選択可能とする。

(1-7) ボディパックワイヤレス送信機

- (1) 送信周波数 B 帯(806.125～809.750MHz)に対応すること。

- (2) 送信チャンネル数 B 帯(806~810MHz)30 チャンネルのうち任意の 1 チャンネル選択可能なこと。
- (3) 送信出力 1mW、10mW選択可能とする。
- (4) 音声入力端子は 4 ピンオス型ミニコネクタ(TA4M)とする。
- (5) 外形寸法(幅 x 高さ x 奥行)は、80 mm x120 mm x50 mm以下であること。

(1-8) ヘッドセットマイク

- (1) 無指向性ヘッドセットマイクロホンとする。
- (2) 周波数特性 20~20,000Hz とする。
- (3) コネクタは TA4F とする。
- (4) マイクケーブル長さ 1.6m 以上 2m 以下とする。

(1-9) ラベリア・マイクロホン

- (1) 無指向性エレクトレット・コンデンサマイクロホンとする。
- (2) 周波数特性 50~20,000Hz とする。
- (3) コネクタは TA4F とする。
- (4) マイクケーブル長さ 1m 以上 2m以下とする。

(1-10) 充電ステーション

- (1) (1-7) ボディパックワイヤレス・(1-6) ワイヤレスハンドヘルド 2 台同時充電可能とする。

(1-11) リチウムイオン充電電池

- (1) (1-7) ボディパックワイヤレス・(1-6) ワイヤレスハンドヘルドに取付可能とする。
- (2) 定格電圧 3.6V とする。

(1-12) ワイヤレスアンテナ

- (1) 指向特性カーディオイドとする。
- (2) 周波数帯域は 650~950MHz に対応すること。
- (3) コネクタは BNC(50Ω)端子とする。
- (4) 外形寸法(幅 x 高さ x 奥行)は、200 mm x200 mm x70 mm以下であること。

(1-13) アンテナ混合キット

- (1) 周波数帯域は 10~1000MHz とする。
- (2) アンテナ入力 2 系統以上とする。
- (3) アンテナ混合出力 1 系統以上とする。
- (4) コネクタは BNC(50Ω)端子とする。

(1-14) アンテナ分配システム

- (1) 周波数帯域は 470～960MHz とする。
- (2) アンテナ入力 BNC(50Ω)端子 2 系統以上とする。
- (3) アンテナ出力 BNC(50Ω)端子 8 系統以上とする。
- (4) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。
- (5) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、500 mm x 60 mm x 190 mm 以下(突起部除く)であること。

(1-15) ダイナミックマイクロホン

- (1) 周波数帯域は 50～15,000Hz とする。
- (2) 指向特性カーディオイドとする。
- (3) ロック機能付き音声オン/オフスイッチ付とする。
- (4) 外形寸法は、Φ70x180 mm 以下であること。

(1-16) マイクロホンスタンド

- (1) 高さ調整は、900mm 以上 1600mm 以下の範囲でできること。
- (2) 重量は、3kg 以下であること。

(1-17) 卓上マイクスタンド

- (1) 高さ調整は、230mm 以上 360mm 以下の範囲でできること。

(1-18) ステレオアンプ

- (1) DSP を搭載しクロスオーバー、イコライザー、ディレイ設定が可能なこと。
- (2) DSP の詳細設定はプリセットとして本体に保存可能とする。
- (3) チャンネル出力 450W+450W(8Ω)以上とする。
- (4) DSP の詳細設定やプリセットの保存は、USB 接続から行うことが可能なこと。
- (5) 本体前面液晶ディスプレイパネルで音量調整、各機能設定操作を可能なこと。
- (6) EIA 規格 2U の 19 インチラックマウント型とする。

(1-19) パワーアンプ

- (1) チャンネル出力ローインピーダンス 30W+30W(8Ω)以上とする。
- (2) チャンネル出力ハイインピーダンス 60W(70 系/100 系)以上とする。
- (3) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、230 mm x 70 mm x 300 mm 以下であること。

(1-20) ステレオヘッドホン

- (1) 密閉ダイナミック型とする。
- (2) 再生周波数帯域は 10～20,000Hz とする。

(3) ドライブユニット口径 40mm ドーム型とする。

(1-21) パワードモニタースピーカー

- (1) 2WAY バスレフ型パワードスピーカーとする。
- (2) 再生周波数帯域は 80～20,000Hz に対応すること。
- (3) 定格出力 20W 以上とする。
- (4) 10cm ウーファーと 2.2cm ツイーター以上搭載とする。
- (5) 入力 RCA/XLR 端子を有すること。

(1-22) コンパクトアレイスピーカー

- (1) 許容入力 250W 以上とする。
- (2) 出力音圧レベル 100dB(1W, 1m)以上とする。
- (3) 再生周波数特性は 80～20,000Hz に対応すること。
- (4) 水平指向角 100° とする。
- (5) 重量は、30kg 以下であること。
- (6) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、500 mm x 680 mm x 300 mm 以内であること。

(1-23) スピーカー取付金具他

a. スピーカー角度調整金具

- (1) 連結スピーカーの指向角 15° モード、30° モード、45° モード、60° モードに変更可能とする。

b. スピーカー天井取付金具

- (1) 天井取付金具とする。
- (2) 35kg 以上の荷重に耐えること
- (3) 黒半艶塗装とする。
- (4) 設置済みの支持具（別紙 5、6 参照）に固定可能であること。

c. スピーカー取付金具

- (1) スピーカーに取付け、天井取付金具と組み合わせが可能なこと。

(1-24) パワーコントローラー

- (1) 電源入力 20A サーキットブレーカーを搭載していること。
- (2) 非常時に電源を遮断する制御入力を備えること。
- (3) 外部起動制御端子を有すること。
- (4) 消費電力 6.5W 以下とする。
- (5) 本体前面のローカル/リモートスイッチで電源切替制御を可能とする。
- (6) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。

(1-25) 外部入力パネル

- (1) マイク XLR 入力接続端子 1 個装備すること。
- (2) 音声出力接続端子 1 個装備すること。
- (3) AC100V 電源コンセント端子 1 個装備すること。
- (4) 外部入力パネルはラックに 1U で EIA マウント可能なこと。
- (5) 外部入力パネルは 4 枠構成の 1U パネルとし、うち 3 枠にはマイク XLR 入力・音声出力・AC100V 電源コンセントの各端子を 1 個ずつ取り付けること。残る 1 枠については、穴埋め用のブランクプレートを取り付けること。

(1-26) 主コネクタパネル

※主コネクタパネルは、ケーブルボックス内に設置可能であり、設置する端子プレート及びコネクタの詳細は以下のとおりとすること。

- (1) (1-22) コンパクトアレイスピーカ用端子プレート(コネクタ 5 個用)を 2 台取り付けること。
- (2) (1-22) コンパクトアレイスピーカ用接続コネクタを 8 個取り付けること。
- (3) 以下コネクタ用の端子プレート(コネクタ 5 個用)を 4 台取り付けること。
- (4) 要件(3)のプレートにアンテナ用接続コネクタを 10 個取り付けること。
- (5) 要件(3)のプレートにアリーナ 4 隅のスピーカ用の XLR コネクタを 8 個取り付けること。
- (6) 要件(3)のプレートに観覧スペーススピーカ用の接続コネクタを 2 個取り付けること。

(1-27) 副コネクタパネル

※副コネクタパネルは、アリーナ西側に取付けられる仕様とし、設置する端子プレート及びコネクタの詳細は以下のとおりとすること。

- (1) (1-22) コンパクトアレイスピーカ用端子プレート(コネクタ 3 個用)を 2 台取り付けること。
- (2) (1-22) コンパクトアレイスピーカ用接続コネクタを 4 個取り付けること。
- (3) 以下コネクタ用の端子プレート(コネクタ 3 個用)を 4 台取り付けること。
- (4) 要件(3)のプレートにアンテナ用接続コネクタを 5 個取り付けること。
- (5) 要件(3)のプレートにアリーナ 4 隅のスピーカ用の XLR コネクタを 4 個取り付けること。
- (6) 要件(3)のプレートに観覧スペーススピーカ用の接続コネクタを 1 個取り付けること。

(1-28) 壁用端子盤フレーム

- (1) (1-27) 副コネクタパネルの端子プレート 6 台を取り付け可能であること。

(1-29) 裏ボックス

(1) (1-28) 壁用端子盤フレームを設置可能なこと

(2) 多目的室音響設備機器関連

(2-1) 2CH オーディオレコーダー

- (1) 記録メディアは SD・SDHC・SDXC カード/USB メモリー可能とする。
- (2) 録音再生ファイルは MP3・WAV ファイル可能とする。
- (3) 入力ステレオ RCA/XLR 端子を有すること。
- (4) 出力ステレオ RCA/XLR 端子を有すること。
- (5) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。
- (6) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、500 mm x 60 mm x 320 mm 以下であること。

(2-2) 2CH ワイヤレス受信機

- (1) 受信周波数 B 帯(806.125～809.750MHz)対応のこと。
- (2) 受信チャンネル数 B 帯(806～810MHz)30 チャンネルのうち任意の 2 チャンネル選択可能なこと。
- (3) ゲインの調整範囲は-18dB～+42dB 調整可能とする。
- (4) アンテナ入力 BNC(50Ω)端子 2 端子以上装備すること。
- (5) 音声 XLR バランス出力端子各 1 端子以上装備すること。
- (6) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、230 mm x 50 mm x 180 mm 以下(突起部除く)であること。

(2-3) ワイヤレスハンドヘルド送信機

- (1) 送信周波数 B 帯(806.125～809.750MHz)対応のこと。
- (2) 送信チャンネル数 B 帯(806～810MHz)30 チャンネルのうち任意の 1 チャンネル選択可能なこと。
- (3) 送信出力 1mW、10mW 選択可能とする。

(2-4) 充電ステーション

- (1) (2-3) ワイヤレスハンドヘルド 2 台同時受電可能とする。

(2-5) リチウムイオン充電電池

- (1) (2-3) ワイヤレスハンドヘルドに取付可能とする。
- (2) 定格電圧 3.6V とする。

(2-6) ワイヤレスアンテナ

- (1) 指向特性カーディオイドとする。
- (2) 周波数帯域は 650～950MHz に対応すること。
- (3) コネクターは BNC(50Ω)端子とする。

(4) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、200 mm x 200 mm x 70 mm 以下であること。

(2-7) アンテナ分配システム

- (1) 周波数帯域は 470～960MHz とする。
- (2) アンテナ入力 BNC(50Ω)端子 2 系統とする。
- (3) アンテナ出力 BNC(50Ω)端子 8 系統とする。
- (4) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。
- (5) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、500 mm x 60 mm x 190 mm 以下(突起部除く)であること。

(2-8) マイクロホンスタンド

- (1) 高さ調整は、900mm 以上 1600mm 以下の範囲でできること。
- (2) 重量は、3kg 以下であること。

(2-9) パワーアンプ

- (1) チャンネル出力ローインピーダンス 100W+100W 以上とする。
- (2) チャンネル出力ハイインピーダンス 120W+120W 以上とする。
- (3) DSP 機能を搭載していること。
- (4) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。
- (5) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、500 mm x 50 mm x 400 mm 以下であること。
- (6) (2-10)のデジタルコントロールパネルに接続し音量調整が可能であること。

(2-10) デジタルコントロールパネル

- (1) スイッチ×4, ノブ×1 装備していること。

(2-11) シーリングスピーカー

- (1) フルレンジユニットを搭載したバックカン付きバスレフ型シーリングスピーカーであること。
- (2) 再生周波数帯域は 70～20,000Hz に対応すること。
- (3) 11cm 以上のフルレンジユニット搭載していること。
- (4) 許容入力 80W 以上とする。
- (5) ハイインピーダンス 30W 以上とする。
- (6) 外形寸法(直径 Φ×高さ)は 350 mm×160mm 以下であること。

(2-12) EIA ラック

- (1) 鍵付き強化ガラス扉付きとする。
- (2) 外形寸法は、幅 550～580 mm、高さ 650～690 mm、奥行 550～580 mm 以内であること。

- (3) (2-1)、(2-2)、(2-7)、(2-9)、(2-10)、(2-13)を収納すること。

(2-13) パワーコントローラー

- (1) 電源入力 20A サーキットブレーカーを搭載していること。
- (2) 非常時に電源を遮断する制御入力を備えること。
- (3) 外部起動制御端子を有すること。
- (4) 消費電力 10W 以下とする。
- (5) 本体前面のローカル/リモートスイッチで電源切替制御を可能とする。
- (6) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。

(3) 観覧スペース音響設備機器関連（アリーナ 2 階）

(3-1) シーリングスピーカー

- (1) フルレンジユニットを搭載したバックカン付きバスレフ型シーリングスピーカーであること。
- (2) 再生周波数帯域は 70～20,000Hz に対応すること。
- (3) 11cm 以上のフルレンジユニット搭載していること。
- (4) 許容入力 80W 以上とする。
- (5) ハイインピーダンス 30W 以上とする。
- (6) 外形寸法(直径 ϕ × 高さ)は 350 mm × 160mm 以下であること。

(3-2) ワイヤレスアンテナ

- (1) 指向特性カーディオイドとする。
- (2) 周波数帯域は 650～950MHz に対応すること。
- (3) コネクターは BNC(50 Ω)端子とする。
- (4) 外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）は、200 mm x 200 mm x 70 mm 以下であること。

(4) 食堂音響設備機器関連

(4-1) 2CH ワイヤレス受信機

- (1) 受信周波数 B 帯(806.125～809.750MHz)対応のこと。
- (2) 受信チャンネル数 B 帯(806～810MHz)30 チャンネルのうち任意の 2 チャンネル選択可能なこと。
- (3) ゲインの調整範囲は-18dB～+42dB 調整可能とする。
- (4) アンテナ入力 BNC(50 Ω)端子 2 端子装備すること。
- (5) 音声 XLR バランス出力端子各 1 端子装備すること。
- (6) 外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）は、230 mm x 50 mm x 180 mm 以下(突起部除く)であること。

(4-2) ワイヤレスハンドヘルド送信機

- (1) 送信周波数 B 帯(806.125～809.750MHz)対応のこと。
- (2) 送信チャンネル数 B 帯(806～810MHz)30 チャンネルのうち任意の 1 チャンネル選択可能なこと。
- (3) 送信出力 1mW、10mW選択可能とする。

(4-3) ワイヤレスアンテナ

- (1) 指向特性カーディオイドとする。
- (2) 周波数帯域は 650～950MHz に対応すること。
- (3) コネクターは BNC(50Ω)端子とする。
- (4) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、200 mm x200 mm x70 mm以下であること。

(4-4) 充電ステーション

- (1) (4-2) ワイヤレスハンドヘルド 2 台同時受電可能とする。

(4-5) リチウムイオン充電池

- (1) (4-2) ワイヤレスハンドヘルドに取付可能とする。
- (2) 定格電圧 3.6V とする。

(4-6) 卓上マイクスタンド

- (1) 高さ調整は、210mm 以上 350mm 以下の範囲でできること。

(4-7) パワーアンプ

- (1) チャンネル出力ローインピーダンス 100W+100W 以上とする。
- (2) チャンネル出力ハイインピーダンス 120W+120W 以上とする。
- (3) DSP 機能を搭載していること。
- (4) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。
- (5) 外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）は、500 mm x50 mm x400 mm以下であること。
- (6) (4-8)のデジタルコントロールパネルに接続し音量調整が可能であること。

(4-8) デジタルコントロールパネル

- (1) スイッチ×4, ノブ×1 装備していること。

(4-9) シーリングスピーカー

- (1) フルレンジユニットを搭載したバックカン付きバスレフ型シーリングスピーカーであること。
- (2) 再生周波数帯域は 70～20,000Hz に対応すること。
- (3) 11cm 以上のフルレンジユニット搭載していること。
- (4) 許容入力 80W 以上とする。

- (5) ハイインピーダンス 30W 以上とする。
- (6) 外形寸法(直径 ϕ × 高さ)は 350 mm × 160mm 以下であること。

(4-10) EIA ラック

- (1) 鍵付き強化ガラス扉付きとする。
- (2) 外形寸法幅 550～580 mm、高さ 650～690 mm、奥行 550～580 mm以内であること。
- (3) (4-1)、(4-7)、(4-8)、(4-11)を収納すること。

(4-11) パワーコントローラー

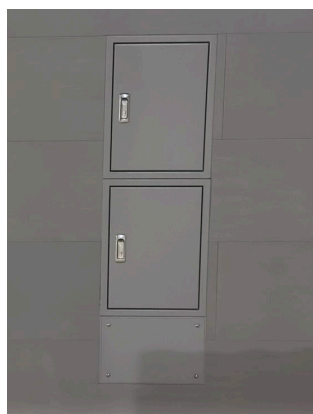
- (1) 電源入力 20A サーキットブレーカーを搭載していること。
- (2) 非常時に電源を遮断する制御入力を備えること。
- (3) 外部起動制御端子を有すること。
- (4) 消費電力 10W 以下とする。
- (5) 本体前面のローカル/リモートスイッチで電源切替制御を可能とする。
- (6) EIA 規格 1U の 19 インチラックマウント型とする。

5. 性能、機能以外の要件

5.1 設置作業及び設定作業

5.1.1 設置作業

- (1) 作業に必要な備品（ケーブル結束バンド、ラベルなど）は受注者が用意すること。
- (2) 既存の配線図は別紙 1、2、3 及び 4 とおりであるが、事前に現地にて配線場所等を確認した上で、それぞれ機器やコネクタパネルへ接続すること。
- (3) アリーナ 1 階のコネクタパネルを設置する位置は別紙 9 のとおり（2 ヶ所：北側と西側）であり、北側のケーブルボックスは別紙 7、8（北側のみ）のとおりで、上部半分のみ使用し、(1-26) 主コネクタパネルを取り付けること。
アリーナ西側には (1-27) 副コネクタパネル、(1-28) 壁用端子盤フレーム、(1-29) 裏ボックスを取り付けるが場所等の詳細については、担当職員と協議の上決定すること。
各コネクタパネルの詳細については担当職員と調整した上で、加工を施すこと。



北側のケーブルボックス(主コネクタパネル設置位置)施工時



北側のケーブルボックス(主コネクタパネル設置位置)



西側の副コネクタパネル設置位置

- (4) 構成内訳の機器を設置する際に必要な線材及び部材等は受注者が用意すること。使用する全てのケーブルはできる限りエコケーブルを使用すること。
- (5) 設置を実施する日時は工程表を提出し、本件担当職員と協議の上決定すること。
- (6) 新築のため作業の際は十分注意し、必要な養生を施すこと。
- (7) (1-22)コンパクトアレイスピーカーの取り付け部は別紙5、6のとおりである。取り付けるアリーナ3階には格子状にメンテナンス通路があるが、高さが約13mの箇所になるため、安全対策を施すこと。(別紙10参照)
- (8) アリーナ1階の4隅に配線されているケーブル(4S8-EM)について、それぞれ1口、合計4口のXLRコネクタ工事を行うこと。

5.1.2 設定

- (1) 設置後に機器単体毎の設定作業を行い、機器単体の動作確認を行うこと。機器単体の設定値と動作確認の結果についてはまとめておくこと。
- (2) 機器単体の設定作業と動作確認後に、全体動作での動作確認を行い結果をまとめておくこと。

6. 提出書類

6.1 完成図書

- (1) 機器リスト・シリアルナンバー(S/N)リスト・系統図・姿図・配置図・機器単体取扱説明書・機・機器単体の設定値と動作結果・全体動作試験結果を1冊のファイルにまとめて提出すること。
- (2) 不具合発生時の体制表(連絡先記載)を提出すること。

6.2 簡易マニュアル

- (1) 使用者が運用する際、基本的な操作ができるシステムマニュアルを3部作成し提出すること。
また、本件担当職員に取扱説明を行うこと。

7. その他

- 7.1 本仕様の作業が終了するまで、本件担当職員との協議を十分に行うこと。
- 7.2 受注者は、本学の安全管理に関する規則その他の関係諸規則を熟知し、本学内において作業を行う者に対し教育を行い、周知徹底を図り安全に努めること。
- 7.3 本仕様を履行する上で受注者の責めに帰すべき事由により本学に損害を与えた場合には、受注者の責任において原状に復すること。
- 7.4 本仕様を履行する上で受注者が被った災害については、本学の責めに帰すべき事由により生じたものを除き、本学は一切の責任を負わない。
- 7.5 導入後の技術的な相談に応じること。
- 7.6 不具合連絡があった際、発生通知後24時間以内に現地にて1次対応すること（平日）。

8. 物品の検査等

8.1 提出書類

- (1) 受注者は「6. 提出書類」で示した書類を提出すること。

8.2 本件担当職員が行う検査等

- (1) 納品物の員数確認
- (2) 提出書類の内容確認
- (3) 設置後の動作確認

(1) アリーナ音響設備機器関連

品名	規格	メーカー	数量
1-1 オーディオミキサー	MODEL24	ティアック株式会社	1 台
1-2 サンプラー	SP-404MK2	ローランド株式会社	1 台
1-3 ディストリビューションアンプ	DA6	英国 Drawmer Electronics Limited	2 台
1-4 ラインレベルコンバーター	TASCAM LA-40MKⅢ	ティアック株式会社	1 台
1-5 2CH ワイヤレス受信機	SLXD4D+J=-JB	米国 Shure Incorporated	4 台
1-6 ワイヤレスハンドヘルド送信機	SLXD2+/58=-JB	米国 Shure Incorporated	5 台
1-7 ボディパックワイヤレス送信機	SLXD1=-JB	米国 Shure Incorporated	2 台
1-8 ヘッドセットマイク	DH5B/0-MTQG	米国 Shure Incorporated	2 台
1-9 ラベリア・マイクロホン	WL93-X	米国 Shure Incorporated	2 台
1-10 充電ステーション	SBC203-J	米国 Shure Incorporated	4 台
1-11 リチウムイオン充電電池	SB903	米国 Shure Incorporated	8 台
1-12 ワイヤレスアンテナ	UA864A	米国 Shure Incorporated	4 台
1-13 アンテナ混合キット	UA221-C-J	米国 Shure Incorporated	3 台
1-14 アンテナ分配システム	UA844+SWB-J	米国 Shure Incorporated	1 台
1-15 ダイナミックマイクロホン	SM58SE	米国 Shure Incorporated	3 台
1-16 マイクロホンスタンド	ST265	独国 König & Meyer GmbH	3 台
1-17 卓上マイクスタンド	23325	独国 König & Meyer GmbH	2 台
1-18 ステレオアンプ	XTi2002	米国 Harman International Industries, Incorporated	2 台
1-19 パワーアンプ	PA2030a	ヤマハ株式会社	1 台
1-20 ステレオヘッドホン	MDR-7506	ソニー株式会社	1 台
1-21 パワードモニタースピーカー	MSP3A	ヤマハ株式会社	2 台
1-22 コンパクトアレイスピーカー	HX-7B	TOA 株式会社	4 台
1-23 スピーカー取付金具他			
a. スピーカー角度調整金具	a. HY-60DB	TOA 株式会社	12 個
b. スピーカー天井取付金具	b. HY-C0801	TOA 株式会社	4 個

c. スピーカー取付金具	c. HY-VM7B	TOA 株式会社	4 個
1-24 パワーコントローラー	PS-P32-B	株式会社 JVC ケンウッド	1 台
1-25 外部入力パネル	CSW-CCP4M-2-B	カナレ電気株式会社	1 個
	MFP-3X1DSLBS-NP	カナレ電気株式会社	1 個
	MFP-2RJ-J-NP	カナレ電気株式会社	1 個
	MFP-WN11511-NP	カナレ電気株式会社	1 個
	MFP-BP	カナレ電気株式会社	1 個
1-26 主コネクタパネル	CSW-TP5-NBP-NP-W	カナレ電気株式会社	2 個
	NL4MPXX	リヒテンシュタイン国 NEUTRIK	8 個
	CSW-TP5-XBP-NP-W	カナレ電気株式会社	4 個
	BJ-JRU	カナレ電気株式会社	10 個
	XLR-3-31-F77	株式会社アイティティキ ャノン	8 個
	XLR-2A-31-F77	株式会社アイティティキ ャノン	2 個
1-27 副コネクタパネル	CSW-TP3-NBP-NP-W	カナレ電気株式会社	2 個
	NL4MPXX	リヒテンシュタイン国 NEUTRIK	4 個
	CSW-TP3-XBP-NP-W	カナレ電気株式会社	4 個
	BJ-JRU	カナレ電気株式会社	5 個
	XLR-3-31-F77	株式会社アイティティキ ャノン	4 個
	XLR-2A-31-F77	株式会社アイティティキ ャノン	1 個
1-28 壁用端子盤フレーム	CSW-KBF-3/6-W	カナレ電気株式会社	1 個
1-29 裏ボックス	CSW-KBF-3/6-BOX	カナレ電気株式会社	1 個

(2) 多目的室音響設備機器関連

品名	規格	メーカー	数量
2-1 2CH オーディオレコーダー	SS-R250N	ティアック株式会社	1 台
2-2 2CH ワイヤレス受信機	SLXD4D+J=-JB	米国 Shure Incorporated	2 台
2-3 ワイヤレスハンドヘルド送信機	SLXD2+/58=-JB	米国 Shure Incorporated	3 台
2-4 充電ステーション	SBC203-J	米国 Shure Incorporated	2 台
2-5 リチウムイオン充電電池	SB903	米国 Shure Incorporated	3 台
2-6 ワイヤレスアンテナ	UA864A	米国 Shure Incorporated	2 台
2-7 アンテナ分配システム	UA844+SWB-J	米国 Shure Incorporated	1 台
2-8 マイクロホンスタンド	ST265	独国 König & Meyer GmbH	1 台
2-9 パワーアンプ	MA2120	ヤマハ株式会社	1 台
2-10 デジタルコントロールパネル	DCP1V4S-US	ヤマハ株式会社	1 台
2-11 シーリングスピーカー	VXC5FW (2 台 1 組)	ヤマハ株式会社	2 式
2-12 EIA ラック	EIA-K12B	株式会社共栄商事	1 台
2-13 パワーコントローラー	PS-P32-B	株式会社 JVC ケンウッド	1 台

(3) 観覧スペース音響設備機器関連 (アリーナ 2 階)

品名	規格	メーカー	数量
3-1 シーリングスピーカー	VXC5FW (2 台 1 組)	ヤマハ株式会社	0.5 式
3-2 ワイヤレスアンテナ	UA864A	米国 Shure Incorporated	1 台

※3-1 シーリングスピーカーのうち 1 台は、(4) 食堂に設置すること

(4) 食堂音響設備機器関連

品名	規格	メーカー	数量
4-1 2CH ワイヤレス受信機	SLXD4D+J=-JB	米国 Shure Incorporated	1 台
4-2 ワイヤレスハンドヘルド送信機	SLXD2+/58=-JB	米国 Shure Incorporated	2 台
4-3 ワイヤレスアンテナ	UA864A	米国 Shure Incorporated	2 台
4-4 充電ステーション	SBC203-J	米国 Shure Incorporated	1 台
4-5 リチウムイオン充電電池	SB903	米国 Shure Incorporated	2 台

4-6 卓上マイクスタンド	23325	独 国 König & Meyer GmbH	1 台
4-7 パワーアンプ	MA2120	ヤマハ株式会社	1 台
4-8 デジタルコントロール パネル	DCP1V4S-US	ヤマハ株式会社	1 台
4-9 シーリングスピーカー	VXC5FW (2 台 1 組)	ヤマハ株式会社	1.5 式
4-10 EIA ラック	EIA-K12B	株式会社共栄商事	1 台
4-11 パワーコントローラー	PS-P32-B	株式会社 JVC ケンウッド	1 台

アリーナ1階配線図

AV設備 凡例

記 号	名 称
AV	AVワゴン
CB	ワゴン接続盤
AVI	外部入力ボックス
VP	ビデオプロジェクター（壁面取付）
300	300型電動巻上スクリーン
SC	スクリーンスイッチ
W	ワイヤレスアンテナ（壁取付型）
B	アンテナブースター
M	メインスピーカー
CI	電源遮断ユニット（非常放送設備）

※特記無き配管配線は下記による。

---S--- 4S8-EM (E19)

---SC--- EM-CPEEO. 9-3P (E25)

---U--- EM-UTPO. 5-4P (Cat6E19)

---F--- 5D-2V (E19)

---F--- 5D-2V x 2 (E25)

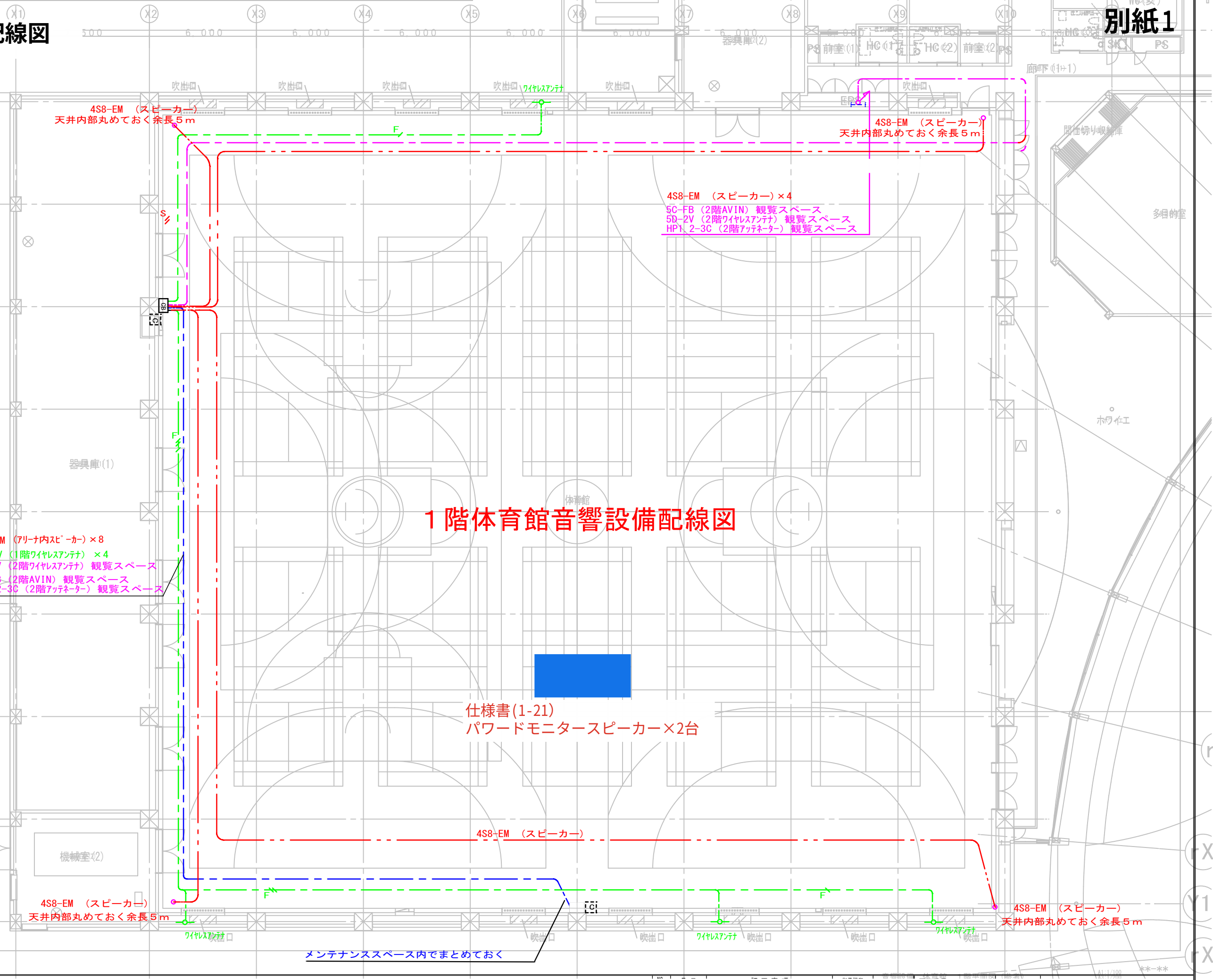
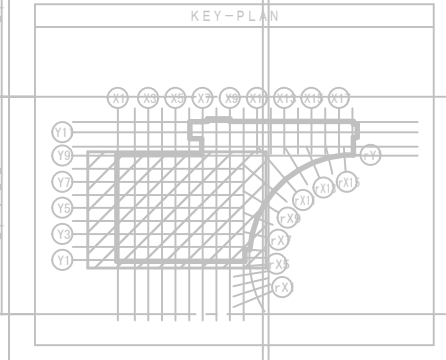
※機器・配線は別途工事とし、配管及びボックスまで
本工事とする。

4S8-EM (アリーナ内スピーカー) x 8
5D-2V (1階ワイヤレスアンテナ) x 4
5D-2V (2階ワイヤレスアンテナ) 観覧スペース
5C-FB (2階AVIN) 観覧スペース
HP1 2-3C (2階アッテネーター) 観覧スペース

1 階体育館音響設備配線図

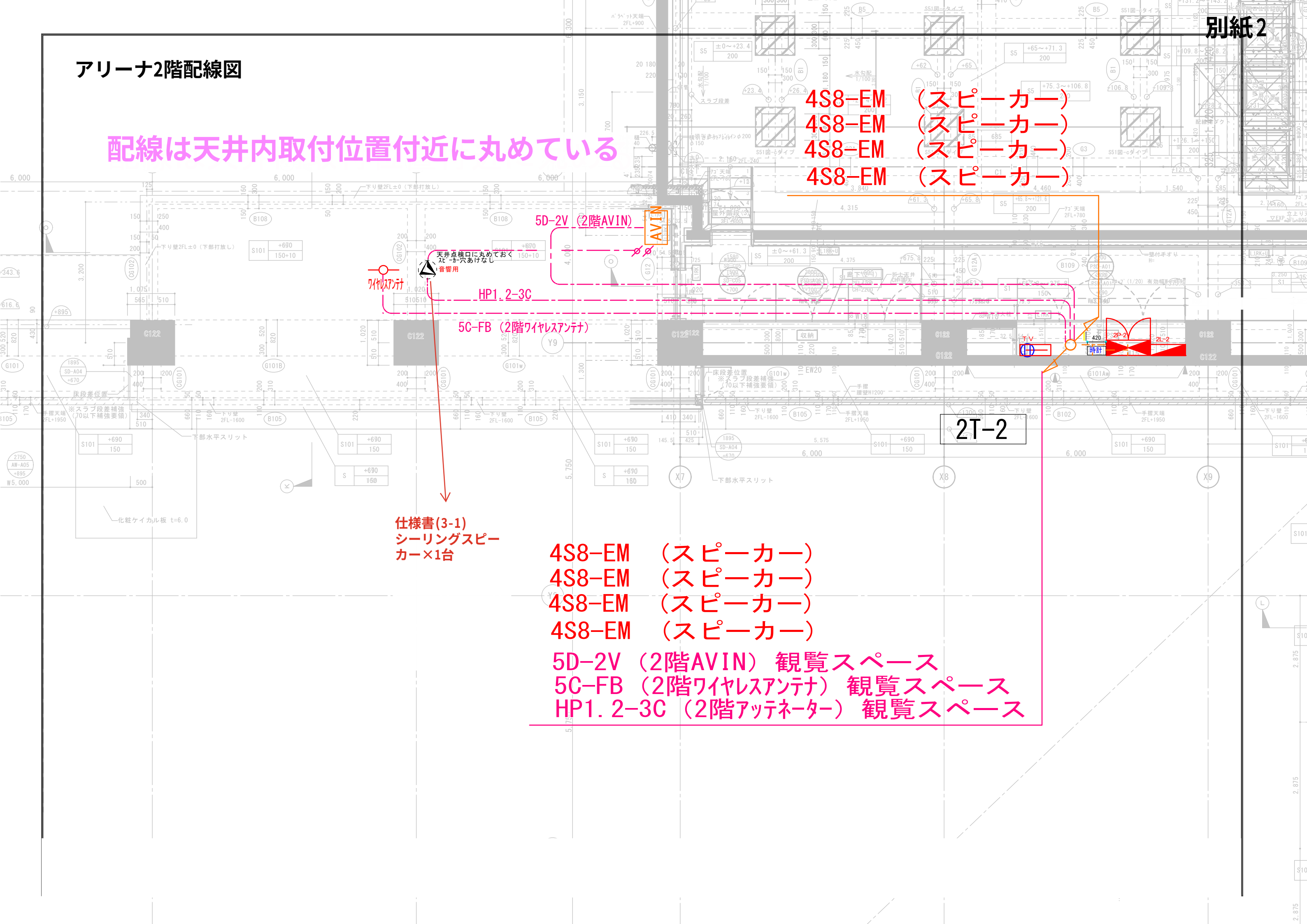
仕様書(1-21)
パワードモニタースピーカーx2台

メンテナンススペース内でまとめておく



アリーナ2階配線図

配線は天井内取付位置付近に丸めている

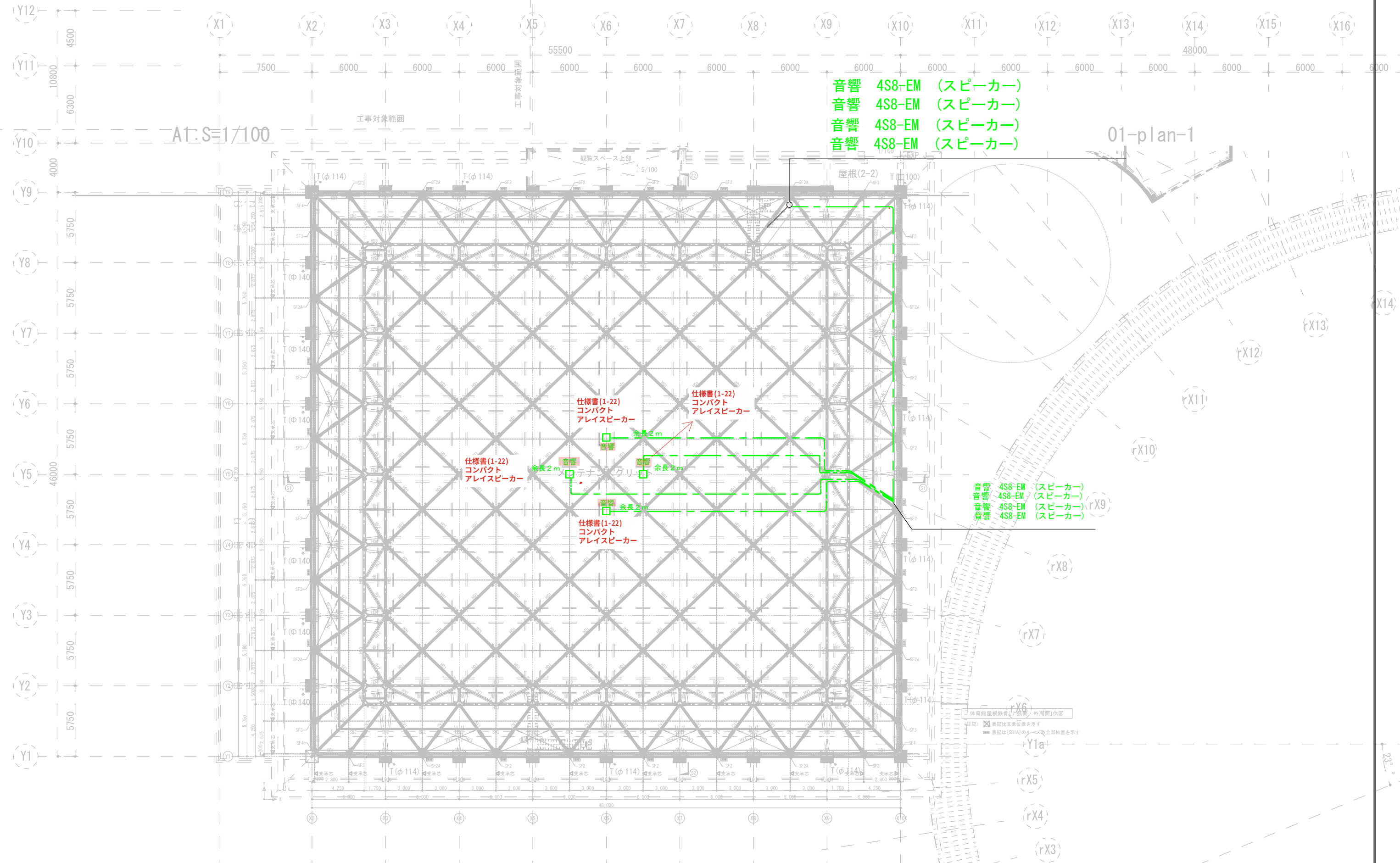


仕様書(3-1)
シーリングスピー
カー×1台

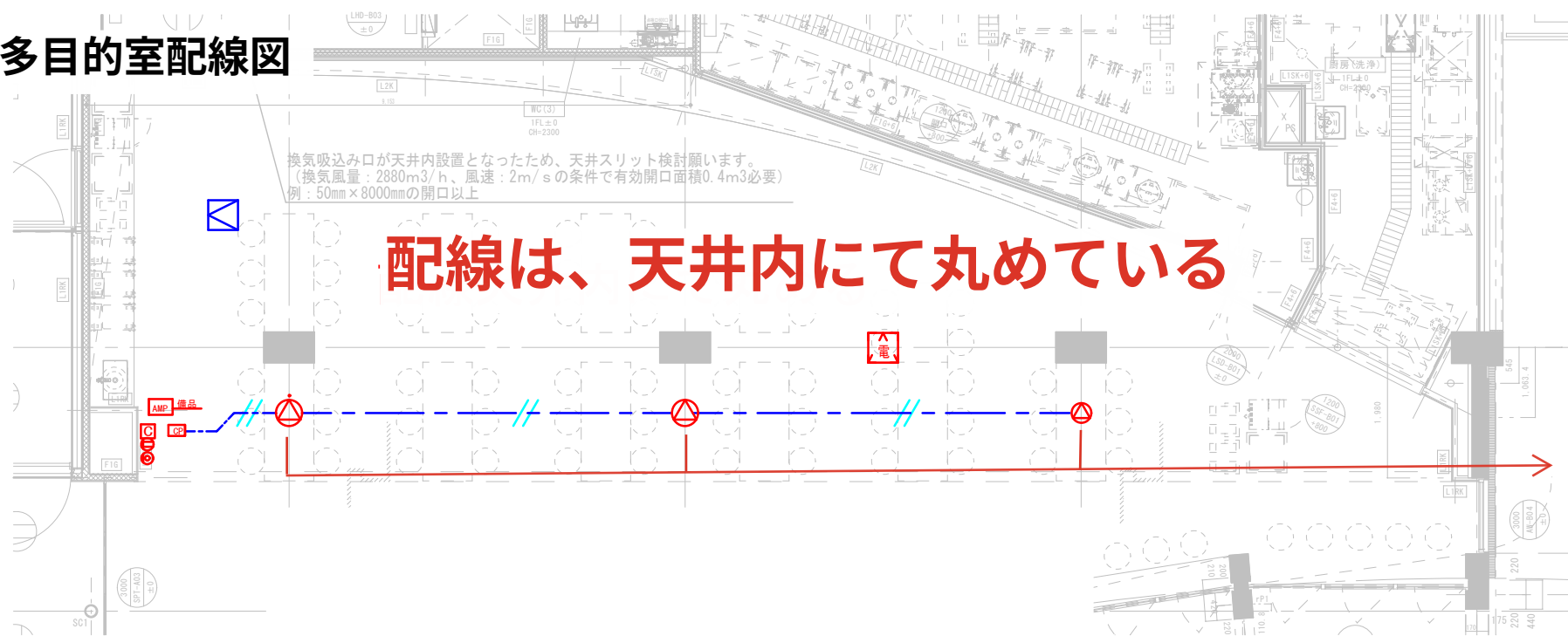
4S8-EM (スピーカー)
4S8-EM (スピーカー)
4S8-EM (スピーカー)
4S8-EM (スピーカー)

5D-2V (2階AVIN) 観覧スペース
5C-FB (2階ワイヤレスアンテナ) 観覧スペース
HP1. 2-3C (2階アッテネーター) 観覧スペース

アリーナ3階配線図

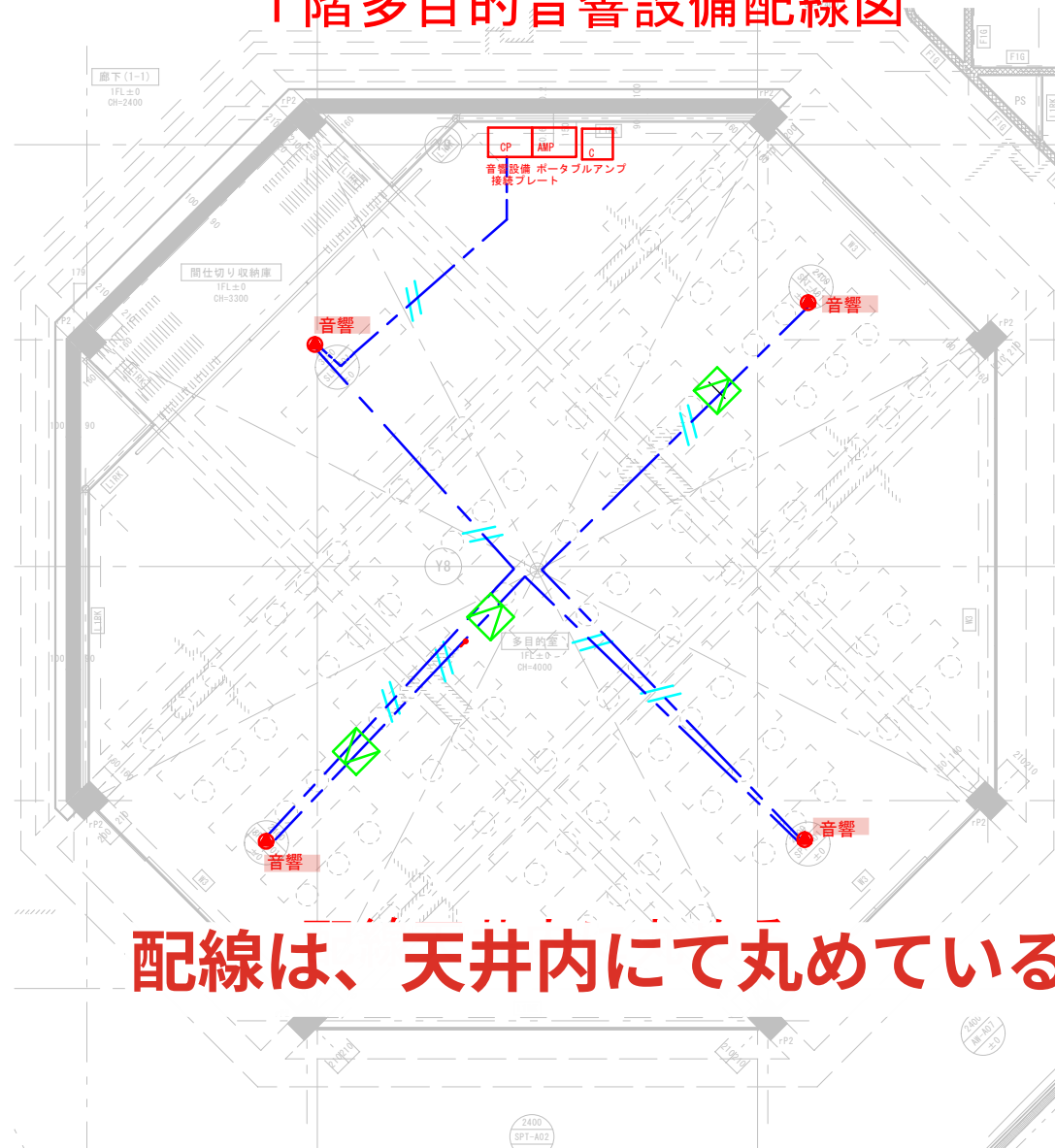


食堂、多目的室配線図

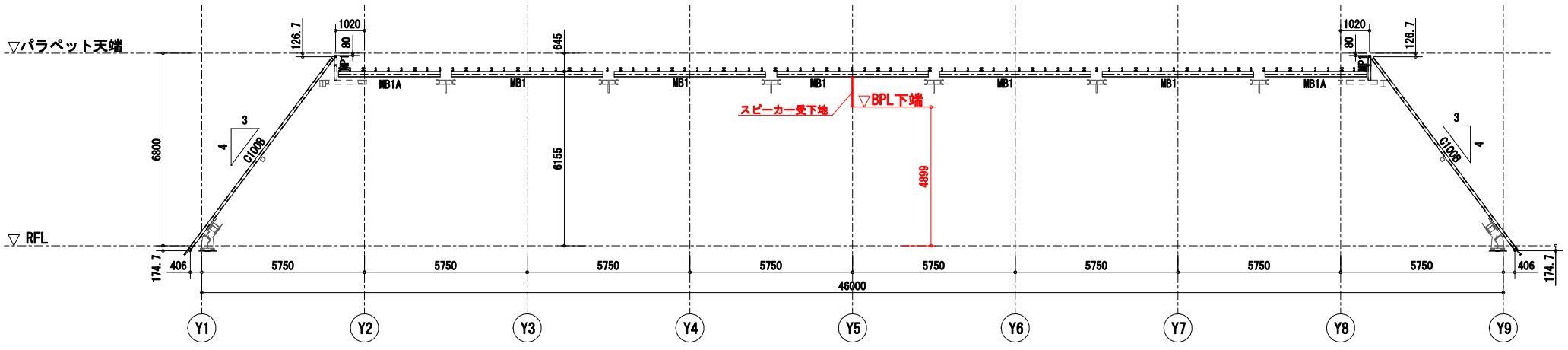


1階食堂音響設備配線図

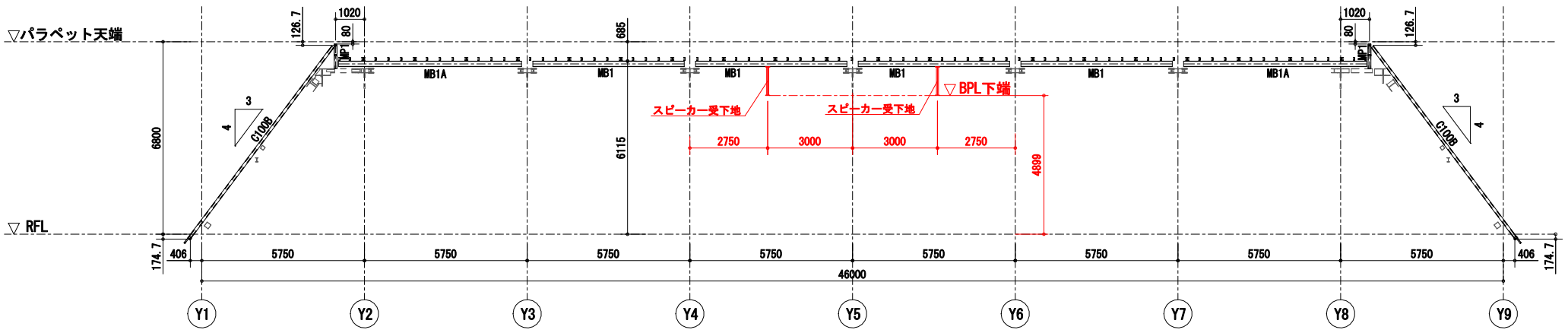
1階多目的音響設備配線図



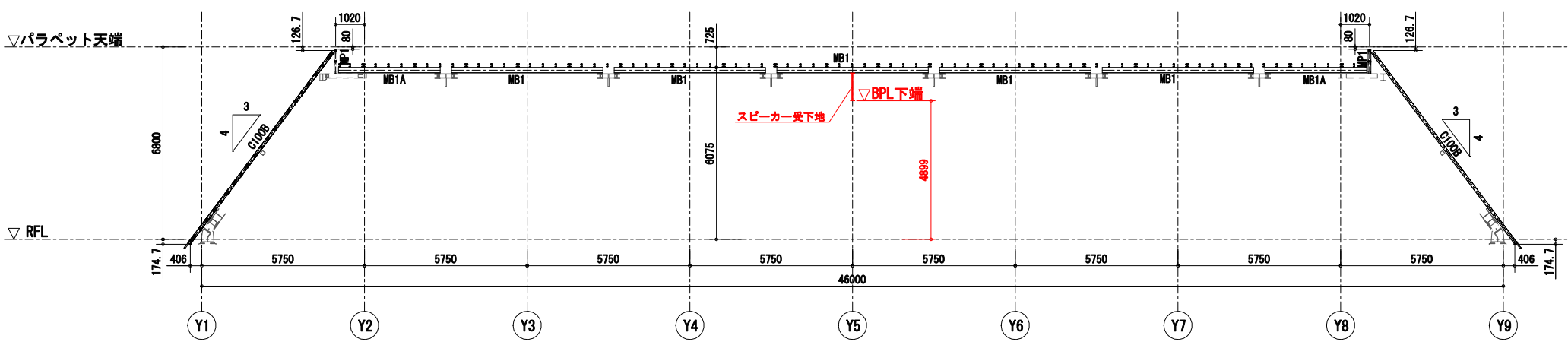
天井スピーカー軸組図



X6通り+3000軸組図

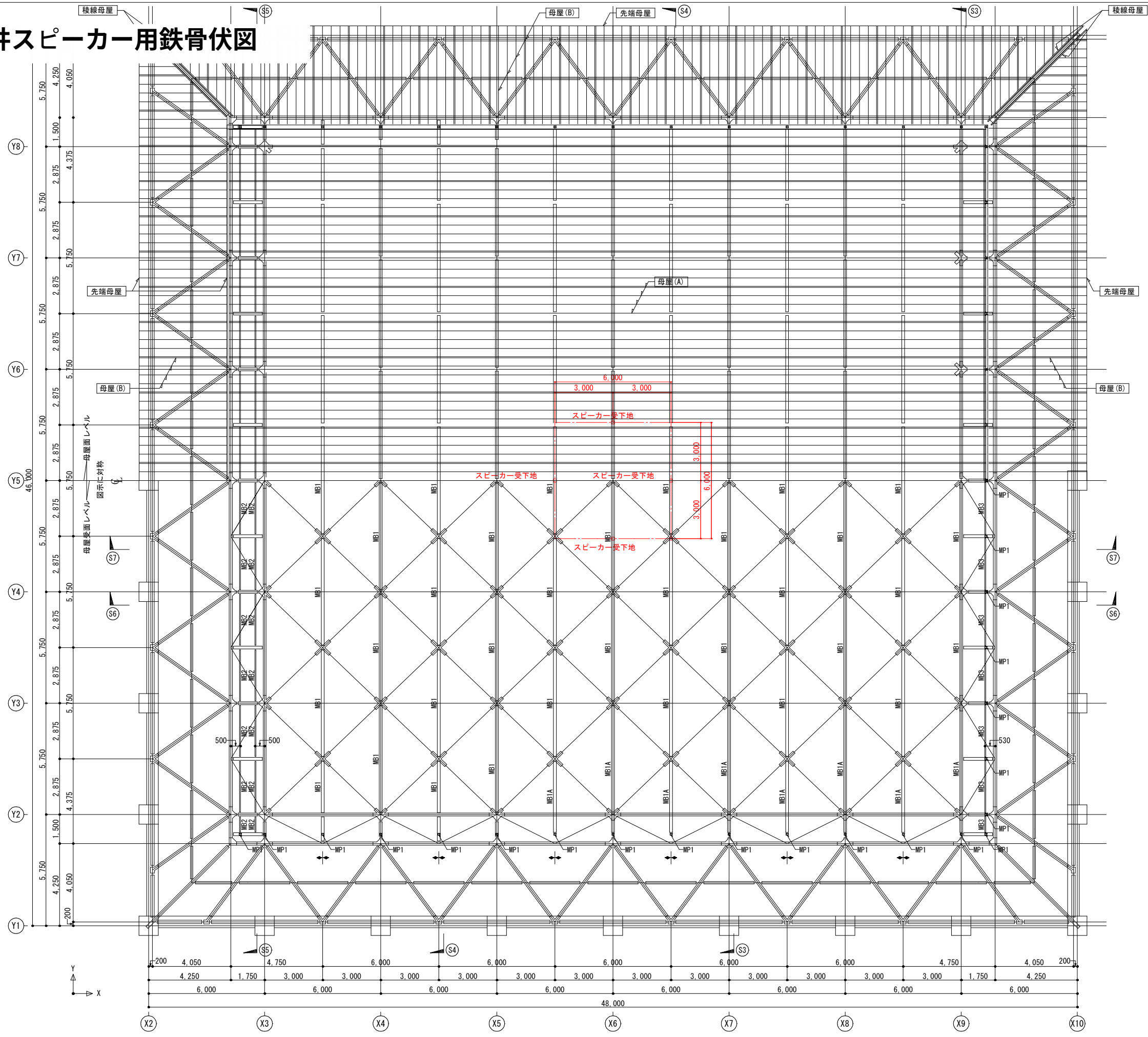


X6通り軸組図

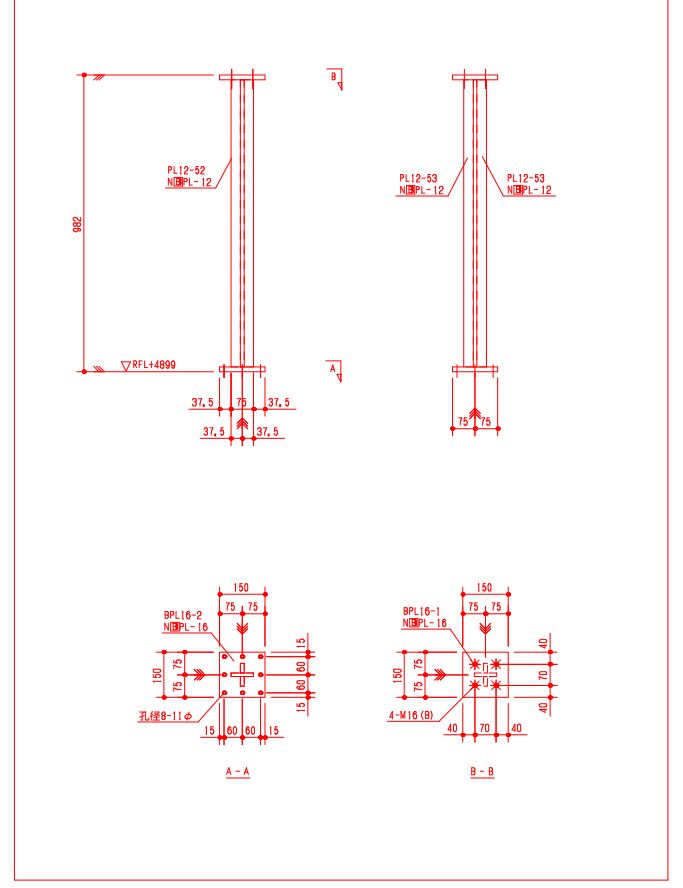


X5通り+3000軸組図

天井スピーカー用鉄骨伏図

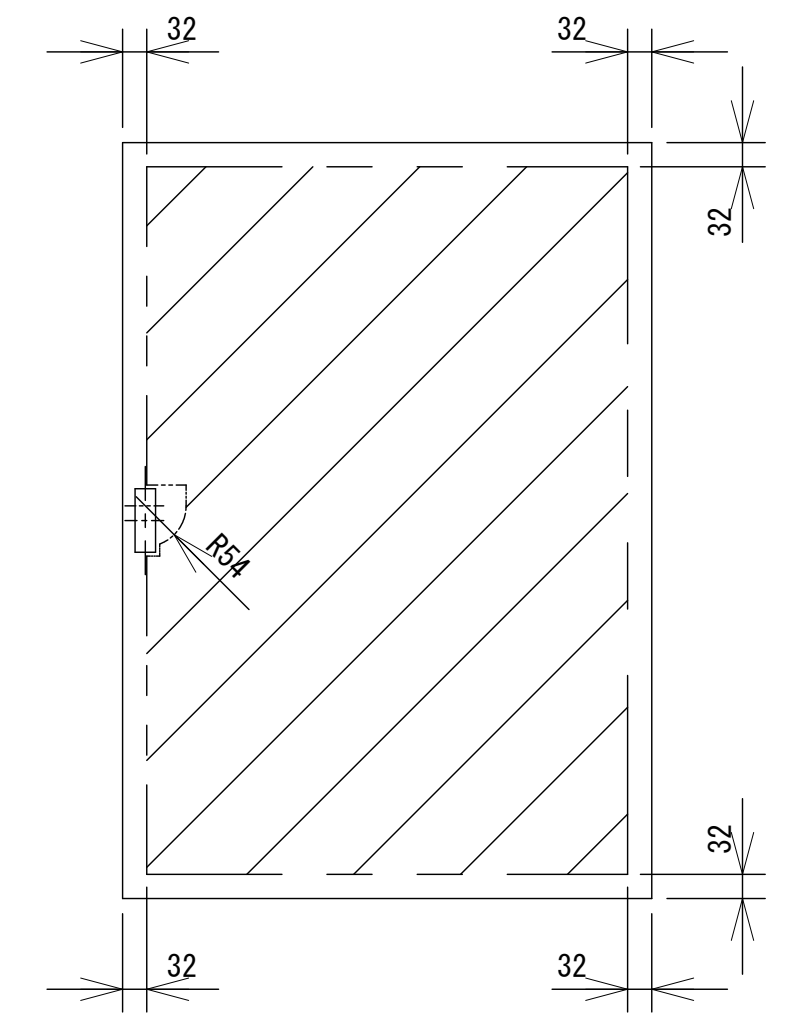
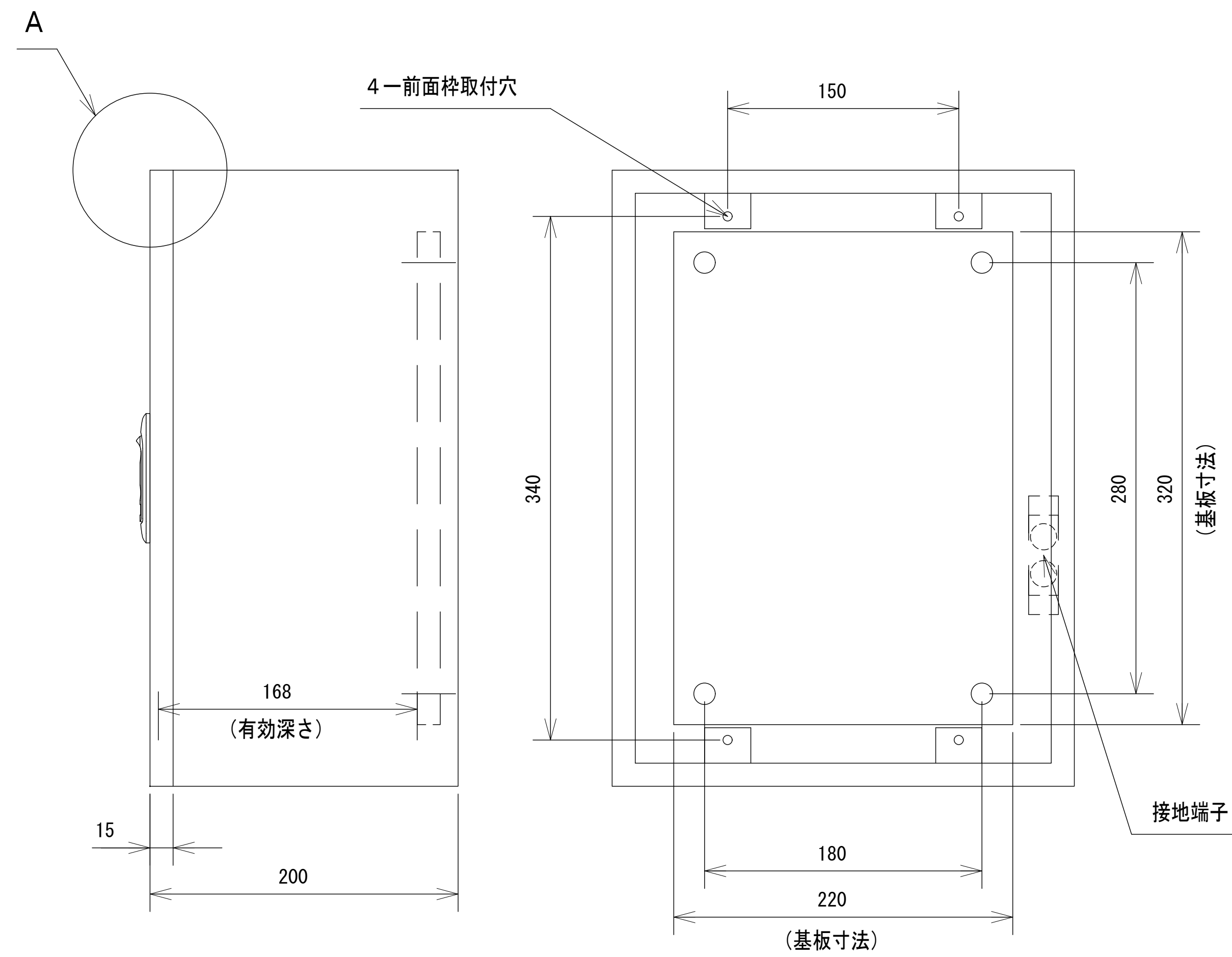
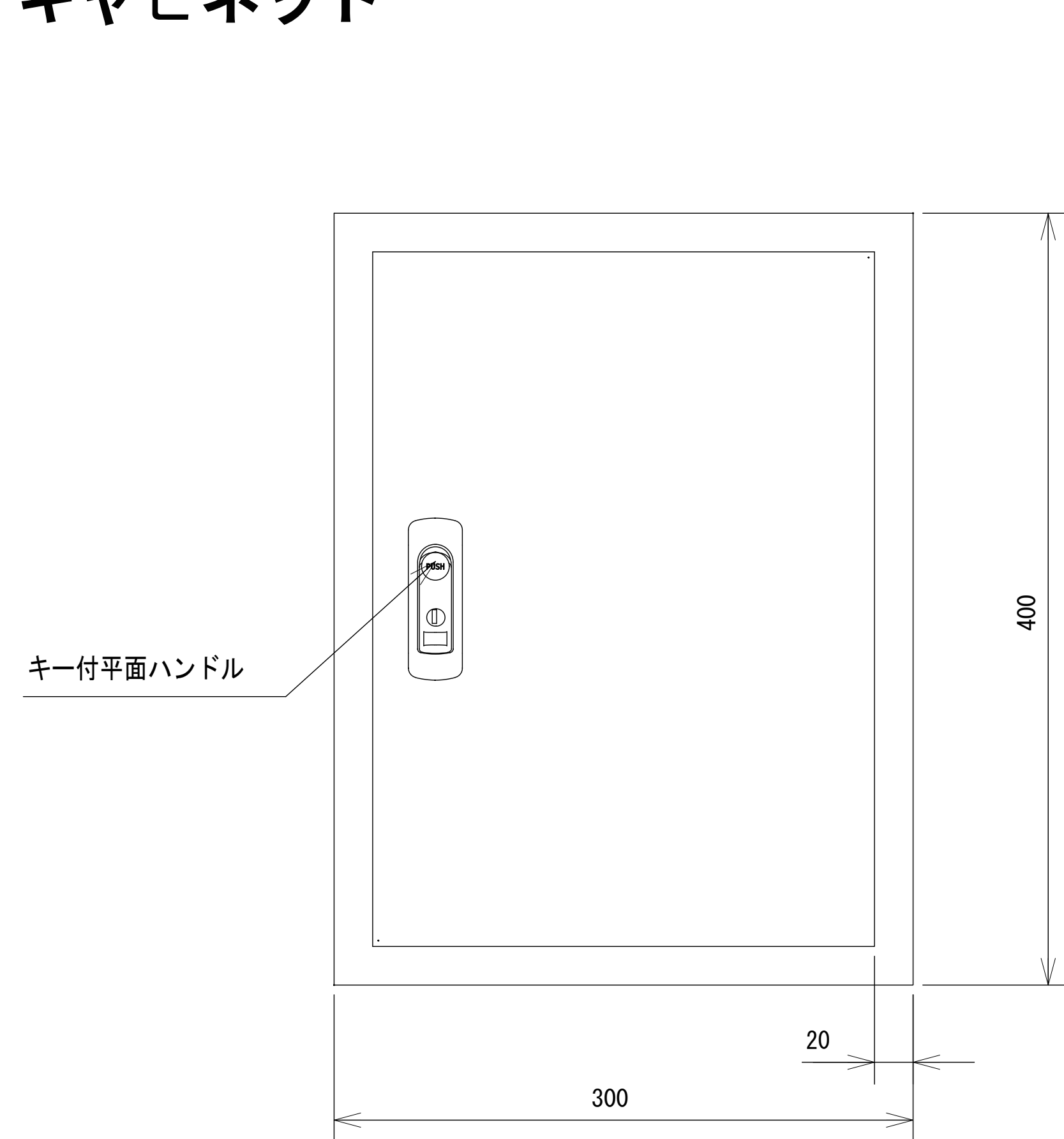


スピーカー受下地製作要領図

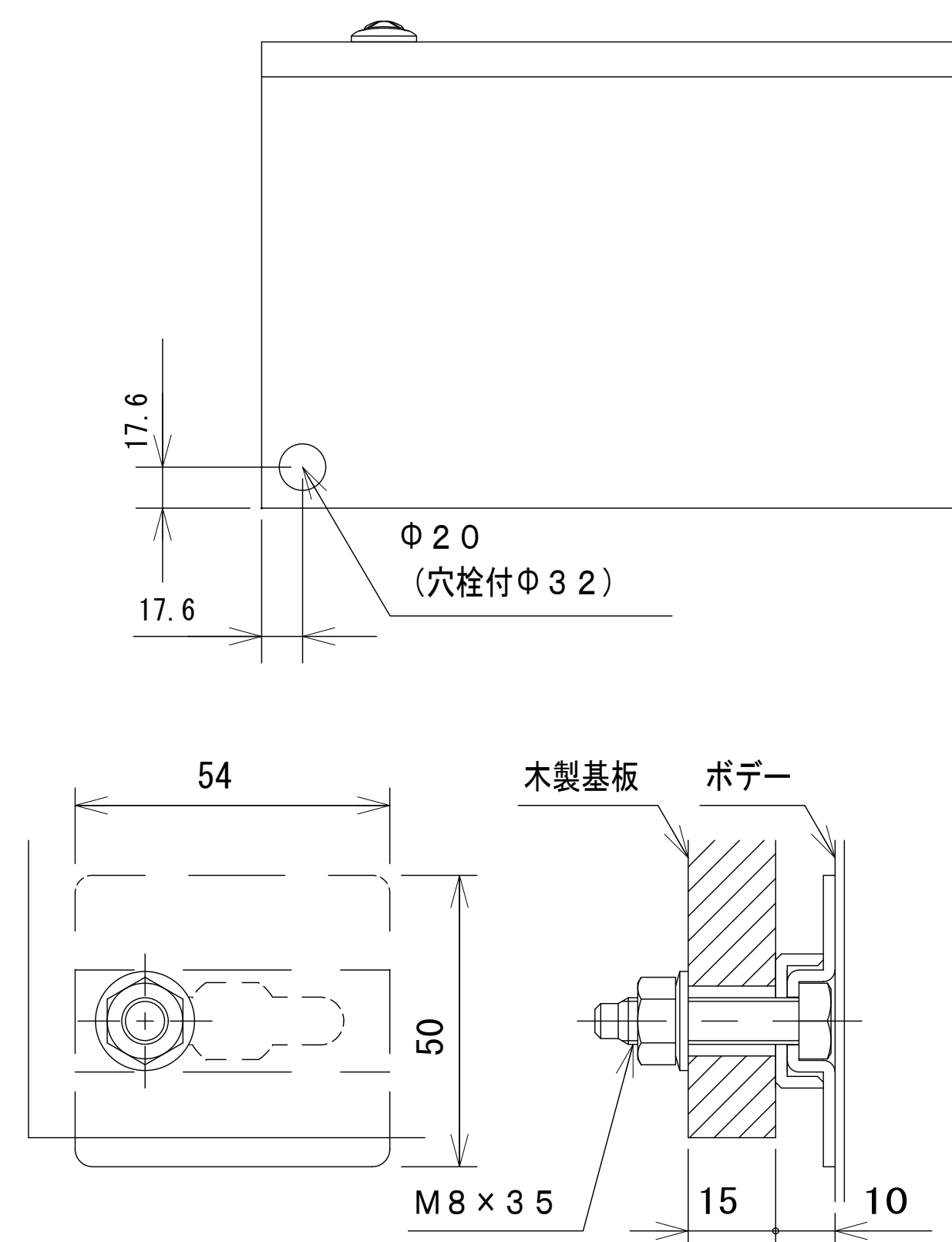


体育館屋根鉄骨〔二次部材面〕伏図
(註記) 表記は母屋 (A) の継手位置を示す

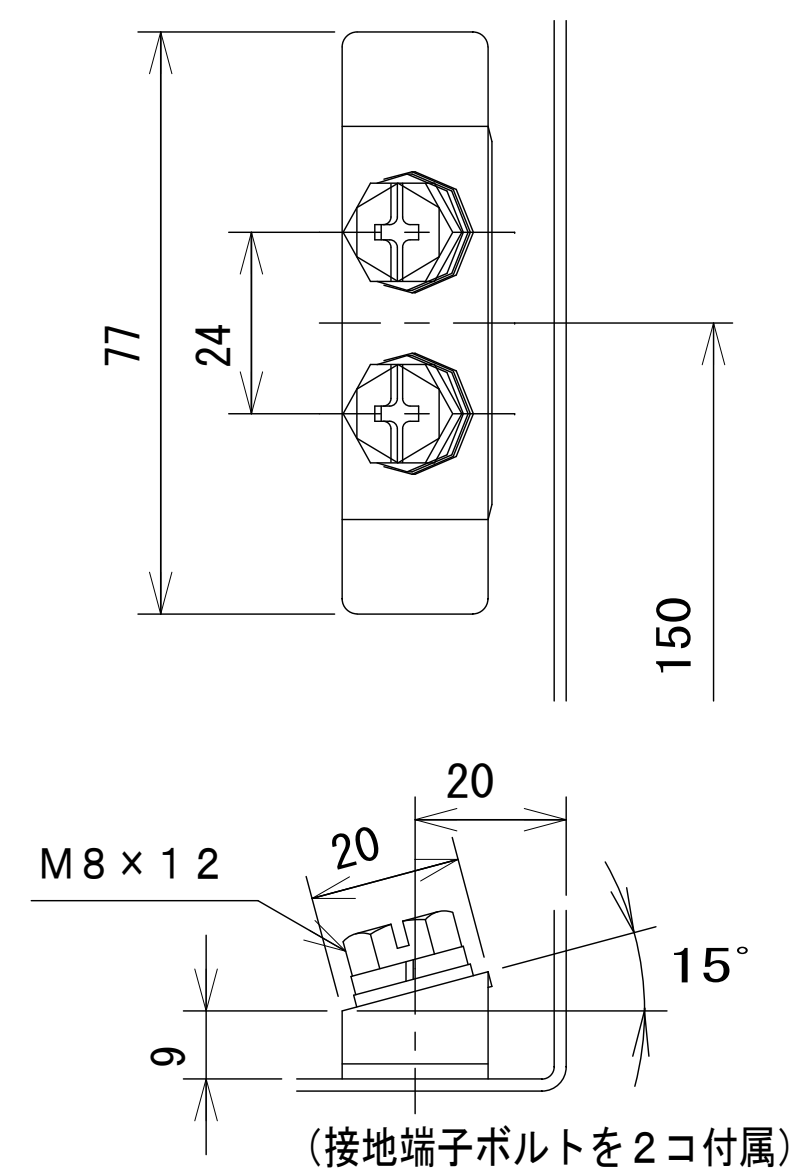
キャビネット



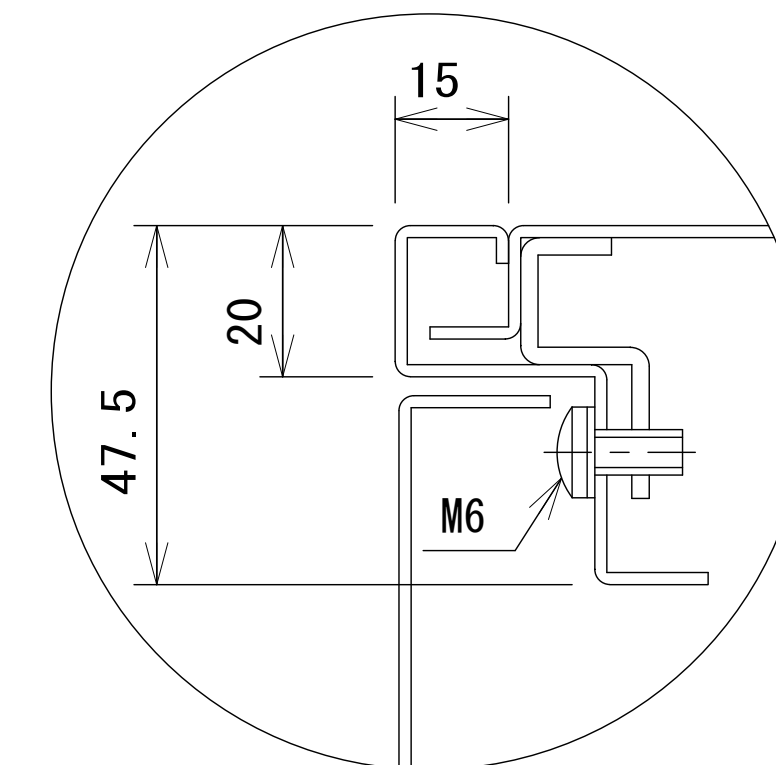
扉 機器取付有効図



基板取付部詳細 (1 : 2)



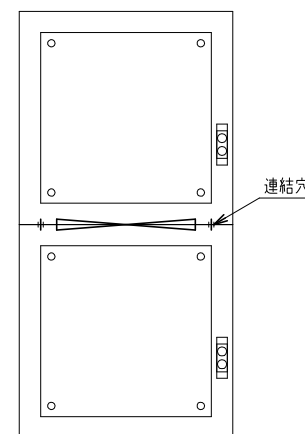
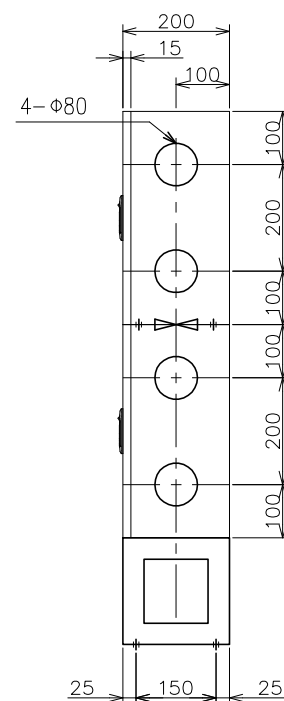
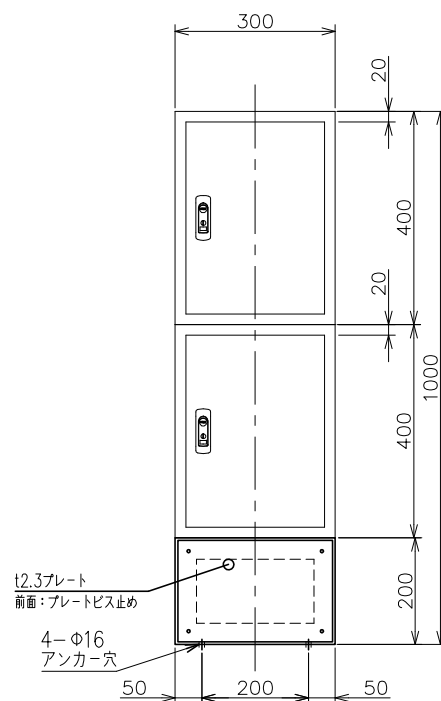
接地端子詳細 (1 : 2)



A部断面詳細 (1 : 2)

キ ャ ビ ネ ッ ト 仕 様		品 名	盤用キャビネット	
形 式	屋内用		B 2 0 - 3 4	
ボデー	鋼板 t1.6	図 番	1 1	
ドア	鋼板 t1.6			
基 板	木板 t15			
塗装色	ライトベージュ (5 Y 7 / 1)			
I P	保護等級 I P 2 X D			

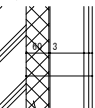
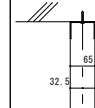
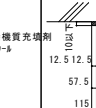
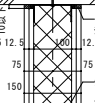
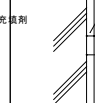
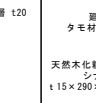
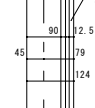
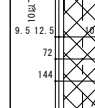
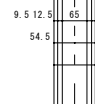
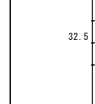
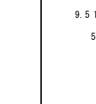
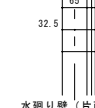
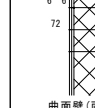
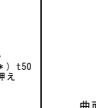
ケーブルボックス外形図

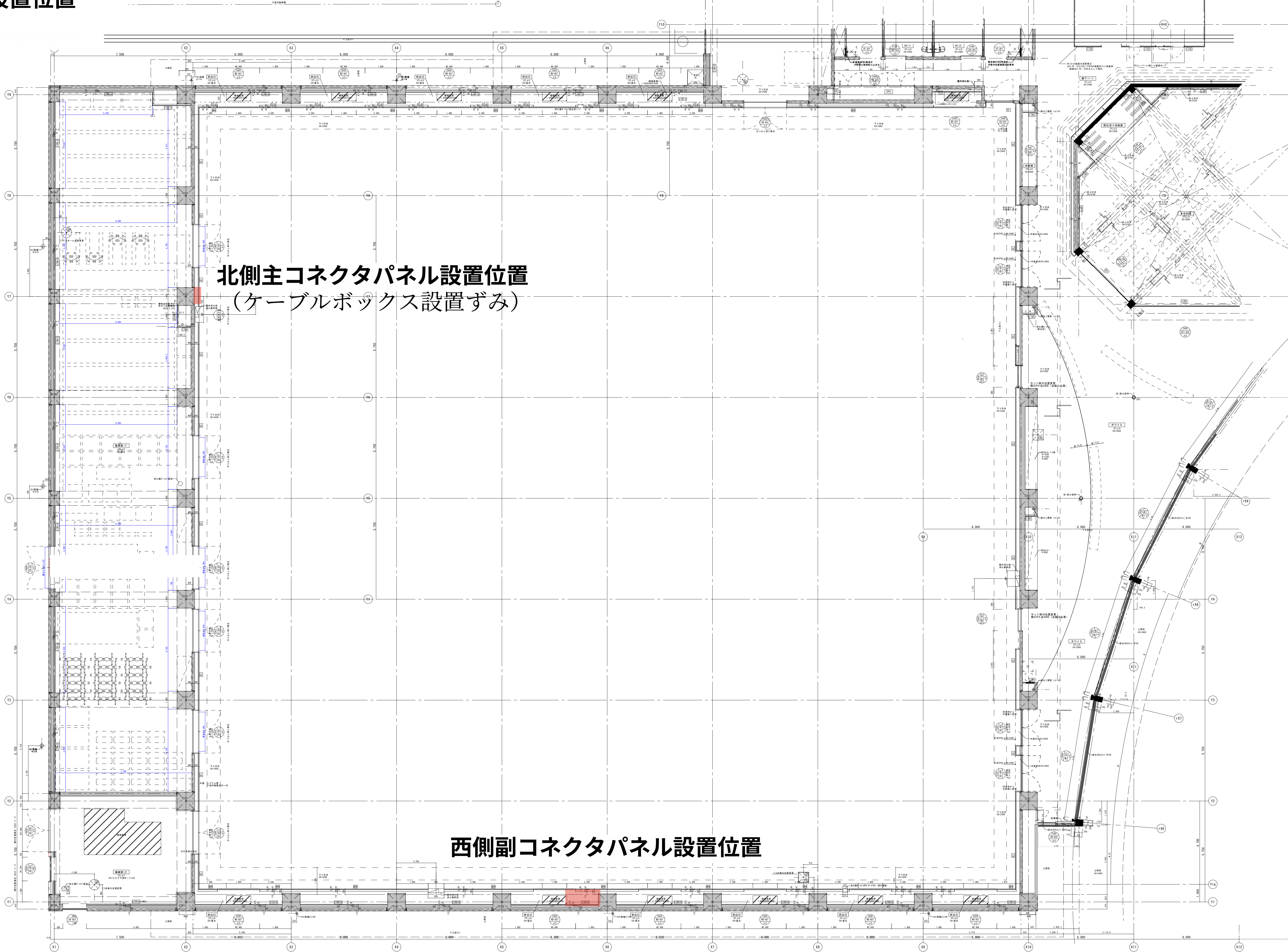
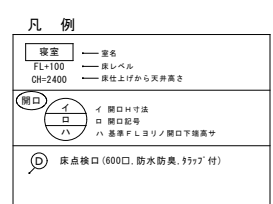
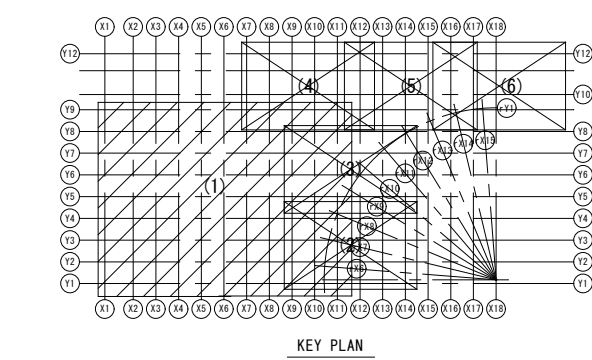


御指定色:PN-70 半艶 (色見本無)
鋼材仕様

架台	L50×50×t6
----	-----------

[illegible]

F2 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F3 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F4 羽状壁 LD545 下  13 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。
F5 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F5 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F6 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。
F7 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F7 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F8 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。
F9 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F9 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F10 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。
F11 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F11 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。	F12 羽状壁 (内張張り) LD545 下  12.5 9.5 100 1. 100mm厚壁に40mm厚断熱材を貼る。 2. 断熱材は140mm厚とする。



Architectural section drawing of a building facade. The drawing shows a sloped roof with horizontal siding. A horizontal gutter cover is visible. The exterior wall is made of RC (Reinforced Concrete) with exposed aggregate (打放) and DP①. The drawing includes a dimension table at the bottom.

600	600	2,400	2,400
-----	-----	-------	-------

[illegible][illegible]

ダクト
500×950

天井 : RC打放+DP①
天井 : GB-R+EP+GW150

空調機
ユニット

建具 : 防球格子

2
1

手すり : St バイブ φ42.7 SOP

100

FL+1250

手すり 支柱 : St-FB t12x50
SOP @1150

壁手すり : RC打放+DP①